

本調査・調査票の変更点

■ 昨年の調査に対する主な変更点

① 本調査の公表について

「外国人研究者割合(「調査票2-0」基礎データ参照)の高い機関名を公表しますので、調査票への記入をお願いいたします。

本調査の概況につきまして、年内に公表する予定です。締切り期日までの提出をお願いいたします。

② ヒアリング調査の実施について(本調査回答集計後)

文部科学省が指定する3～4機関を対象にヒアリング調査を実施します。ヒアリングは、大学等研究機関において主に国際研究交流を担当している部局に対して実施し、原則現地調査とします。

※ヒアリングの観点: 前年度(平成24年度)の結果と比較して派遣・受入れ研究者数の大幅な増減が確認される機関に対して変動の理由と現在の状況を、外国人研究者受入れに関する環境整備の取組やその成果が確認される機関に対して、特徴及び特色をヒアリングします。

■ 昨年の調査票からの変更点

1) 記入方法の変更について

「中期」と「長期」の調査票を統合しました。

「受入れ」の調査票を「受入れ(雇用)」と「受入れ(雇用以外)」の二つに分けました。

2) 記載の変更について

【調査票2-0: 基礎データ】

①「ポストドク・特別研究員等」について、貴機関以外の機関が実施している「特別研究員制度」及び関連支援制度に研究者が応募し、採用された(制度実施機関、貴機関との雇用関係の無い)研究者(「非常勤」に含め、記入)を指します。日本学術振興会の「特別研究員制度」等が挙げられます。雇用形態は「非常勤」を選択してください。

※これまで上記の通り、記入しておりましたら、引き続き、同様に記入してください。

②「在籍外国人研究者総数」を把握するため、「雇用形態の把握(常勤・非常勤)」「任期の有無」を記入してください。

③各職位の研究者数について、同職位の合計研究者数に対する割合を自動で算出、掲載しております。

【調査票2-1: 短期派遣(職位別・分野別)※派遣期間が30日以内を対象】

①派遣目的「学会・シンポジウム」の研究者数を把握するため、追加しました。

【調査票2-1: 短期派遣(財源別)※派遣期間が30日以内を対象】

①「文部科学省」「日本学術振興会」の財源として、「科研費」「科研費以外」の2つに分類しました。「科研費」は記入要領、調査票の内に「プルダウンリスト(財源一覧)」を添付しており、その中で「科研費」に該当する研究種目を挙げておりますので、こちら参照してください。

②「自機関の負担なし」の財源を「私費等」「先方負担」「その他」の3つに分類しました

【調査票2-1: 中・長期派遣※派遣期間が31日以上を研究者を対象】

①「生年」を西暦(算用数字)で記入してください。

②雇用形態の表記を「常勤」「非常勤(去年は「常勤以外」)」に変更しました。

③派遣期間を日数(算用数字)の表記に変更しました。

※期間の定義が変わったので、記入要領の用語・定義の「期間」を参照してください。

④派遣先機関(「政府・政府関連機関等、国際機関等」「大学等」「民間等(財団、社団法人、NPO 法人含む)」「その他・分類不能」「不明」)を追加しました。

⑤派遣目的として「研修」「教育」「学会・シンポジウム」を追加しました。

【調査票2-2: 短期受入れ(職位別・分野別)※受入れ期間が30日以内を対象】

①受入目的「学会・シンポジウム」の研究者数を把握するため、追加しました。

【調査票2-2: 短期受入れ(財源別)※受入れ期間が30日以内を対象】

①「文部科学省」「日本学術振興会」の財源として、「科研費」「科研費以外」の2つに分類しました。「科研費」は記入要領、調査票の内に「プルダウンリスト(財源一覧)」を添付しており、その中で「科研費」に該当する研究種目を挙げておりますので、こちら参照してください。

②「自機関の負担なし」の財源を「私費等」「先方負担」「その他」の3つに分類しました。

【調査票 2-2: 中・長期受入れ(雇用)※受入れ(雇用)期間が31日以上の研究者を対象】

①「生年」を西暦(算用数字)で記入してください。

②雇用形態の表記を「常勤」「非常勤(昨年は「常勤以外」)」に変更しました。

③雇用期間を日数(算用数字)の表記に変更しました。

※期間の定義が変わったので、記入要領の用語・定義の「期間」を参照してください。

④雇用前機関(「政府・政府関連機関等、国際機関等」「大学等」「民間等(財団、社団法人、NPO 法人含む)」「その他・分類不能」「不明」)を追加しました。

⑤雇用目的として「研修」「教育」「学会・シンポジウム」を追加しました。

【調査票 2-2: 中・長期受入れ(雇用以外)※受入れ(雇用以外)期間が31日以上の研究者を対象】

①「生年」を西暦(算用数字)で記入してください。

②受入期間を日数(算用数字)で表記。

③受入前機関(「政府・政府関連機関等、国際機関等」「大学等」「民間等(財団、社団法人、NPO 法人含む)」「その他・分類不能」「不明」)を追加しました。

④受入目的として、「研修」「教育」「学会・シンポジウム」を追加しました。

⑤雇用形態(「常勤」「非常勤」)、「任期」の有無、を削除しました。

【調査票 3-2: 研究者受入れに利用した制度と実績】 ※指定機関のみ

①各制度に対して「雇用」または「受入(雇用以外)」、またはその両方、のいずれに該当するものに記入してください。

以上